

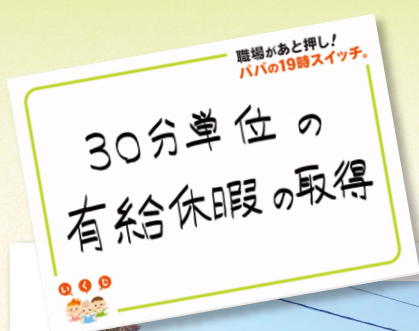
# 職場があと押し！ パパの19時スイッチ。

い く じ



子育てしやすいように職場環境を整えることで、福利厚生  
の拡充はもちろん、従業員のやる気創出や業務の効率  
アップが期待できます。こうした取り組みの積み重ねが少  
子化克服への一歩につながります。

子どもは社会の宝。県内企業による仕事と子育てを両立  
しやすい環境づくりの取り組みとその成果をご紹介します。



## 株式会社寒風(男鹿市)

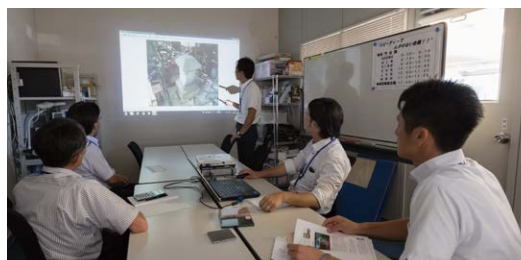
業種／建設業 従業員数／60名  
<http://www.kanpu.co.jp/honsha/>

寒風山から産出される男鹿石は、土木・建築材料や、庭石・景石、石碑や彫刻などの資材として全国に流通しています。株式会社寒風は、この男鹿石を中心とした石材の採石、加工、土木、造園施工から秋田営業所を拠点とした墓石・仏壇販売まで幅広く手がけています。皇居本丸中之門、首相官邸の石垣なども施工するなど、地元の天然資源を大切に活用し、その価値を高める匠の技を駆使した事業を展開しています。



### 30分単位の時間休と業務の共有化で仕事・子育てを支援

創業70年、地元になくてはならない地場産業としての地位を築いた同社では、地域貢献活動にも意欲的に取り組んでいます。消防団活動、お祭りの手伝い、周辺の清掃作業はもちろん、地元住民でもある従業員が子どもの学校行事や地域活動などに参加することも積極的に奨励しています。さらに、平成12年から子育て世代が気兼ねなく子どもの行事などにも参加できるよう30分単位の時間休を導入。それとともに業務の共有化をすすめています。



## 従業員から



秋田営業所所長 佐藤さん

### 休暇を子どもの用事に活用、地域の交流も仕事に反映

会社の周辺地域に住む従業員が多く、子どもの用事でちょっと出掛けたいというときも大らかに対応する社風は従来からありました。さらに、部署内の業務を共有化することで、こうした時間単位の休暇もさらに使いやすくなりました。子どもの授業参観やPTAのほかスポ少の当番など、ちょっと出たいというときに気兼ねなく活用し、カバーを頼むこともできます。学校行事や地域活動に積極的に参加することでコミュニケーションも活発になり、仕事にも効果が期待できると思います。これから子どもを育てる若い従業員にも上手に利用してもらい、長く働ける職場にしていきたいですね。

## 職場から



常務取締役 鈴木さん

### 両立支援や地域貢献で、地元になくてはならない企業に

地元で少子化や人口減少が進んでいることもあり、採石・加工の技術を伝承する若い人材の確保や子どもを育てながら満足して働ける環境づくりは、当社の事業展開に不可欠です。業務の共有化で休暇を取りやすくするほか、県外の施工が長期に渡る場合は、途中でメンバーを入れ替えて、それぞれの負担を軽減する試みもすすめています。そして、従業員が学校行事や地域活動へも積極的に関わり、土地に根付いた暮らしを実現することも、私たちにできる地域貢献のひとつといえます。これからもさらに地域と協調しながら、よりよい事業展開につなげていきたいですね。

## 効果アリ!

業務の共有化でチームワークの向上  
仕事と子育ての両立、地域活動で広がるコミュニケーション